公益社団法人北海道勤労者医療協会

公益社団法人
北海道勤労者医療協会
Hokkaido Kin-ikyo Public Interest Association Medical Service for Workers

≪人権を尊重した主な取組や成果≫

戦後の荒廃・混乱で、飢餓と貧困、病気に苦しむ人々があふれる中、当協会は、すべての人間は生まれながらにして平等であり、お金のあるなしで受けられる医療やいのちに格差があってはならないという理念をもち、札幌・余市・浦河の３つの診療所から業務をスタートしました。

そして現在まで「無差別・平等」の考えのもと、「患者の立場に立った親切で良い医療」「病気の原因を生活と労働の場から科学的にとらえる視点」「いのちや健康に関わる社会問題への取組」の３つを心がけ、実践しています。

これからも患者の人権を尊重し、患者と協働(共同)して、地域の皆さまから期待される病院となれるよう頑張ってまいります。

特に力を入れている取組

無料・低額診療の実施

○ 生活の困窮によって、医療費や介護老人保険施設への支払いが困難な方（就学援助受給世帯なども可）に対して医療費の減額または免除を行う制度を実施。

※ 受付・会計窓口、医師や看護師、介護老人保険施設職員、相談窓口等に遠慮なく申し出てください。

子ども　高齢者　その他

安心して受診できる体制の整備

○ 勤医協札幌病院では、手話通訳者を配置する時間を設け、耳の不自由な方も安心して医療を受けられるようにしています。

○ 患者さん等の個人情報保護のため、院内における無断での写真撮影・動画撮影・録音、ＳＮＳ投稿を原則禁止しています。 ※希望される方は職員と要相談

障がいのある人　インターネットによる人権侵害

ＬＧＢＴフレンドリー

性的マイノリティ

○ 性的マイノリティ当事者を招いた講演会のほか、院内学習会を開催。

○ 院内の一部トイレを性的マイノリティの方も含めた「オールジェンダートイレ」とし、新ピクトグラムに更新。

○ さっぽろレインボープライド2024でブース出展。

関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

・ファミリーフレンドリー企業北海道労働局長賞（厚生労働省, 2006年）

・くるみん認定(厚生労働省, 2007年)

・札幌市LGBTフレンドリー指標制度 勤医協札幌病院<星１>(2023年)

■SDGsの取組と目指すゴール

「すべての人に医療・介護の保障」を事業の根幹に据え、医療界はもとより、自治体や国の制度においても、人権と社会保障を遵守・発展させる取組を進めています。道央圏に点在する事業所間の会議等はオンラインを導入し、化石エネルギー利用の低減に努めるとともに、広く道民と共同して、子ども食堂の運営や物資の無料配布に取り組んでいます。そして対話と信義を基調とする国際関係増進の行動・主張により、健康を損なう大きな要因である戦争の反対を訴えています。

会社概要

医療事業や介護事業を行う団体には様々な形態がありますが、当協会は医療事業を中心とした公益的な非営利事業を目的として、それに賛同する人々によって設立されました。

医療事業は単に病気の治療だけを目的とするのではなく、その予防のために多くの力を注ぐことが重要であり、医療活動を通じて傷病の原因であるすべての社会的、経済的条件や環境を徹底的に究明し、是正するところまで発展させる必要があることから、

（1）大衆の支持のもとに医療活動をおこなう
（2）大衆のための医療制度の確立
（3）医療機関の民主的運営
（4）大衆の参加による健康管理などを積極的におこなう

以上の４つの事業を遂行することが、当協会の役割であると考えております。

企業情報	
設立年	1949年(昭和24年)
資本金	—
代表者	理事長　小市 健一
従業員数	2,400名
本社所在地	札幌市

［公式ＨＰ］ https://kin-ikyo.or.jp/